



2007年4月

ホテルニューオータニ

地球環境への配慮が、お客さまの快適さにつながるホテルづくり
「ハイブリッドホテル プロジェクト」

4月11日、第2期オープン

10月のグランドオープンを前に、客室435室が順次営業開始
この他、チャイニーズレストラン、空中宴会場も相次ぎオープン



上：フルハイトウインドウによって抜群の眺望を手に入れたザ・メイン ジュニアスイート
下左：エグゼクティブスイートのバスルーム 右：全面ガラスの外観にリニューアル中のザ・メイン

ホテルニューオータニ(東京都千代田区紀尾井町、総支配人 清水 肇)は、お客さまの安全や快適性と、地球環境への配慮の両立をめざし、2005年11月から2007年10月の2ヵ年、3期計画、総事業費約100億円で推進している「ザ・メイン」(本館)のリニューアル「ハイブリッドホテル プロジェクト」の第2期オープンを2007年4月11日(水)に迎え、プロジェクトでリニューアル予定の総室数のうち約70%、435室の営業を順次開始します。

ハイブリッドホテル プロジェクトとは？

「地球環境への配慮がお客さまの真の快適さにつながるホテルづくり」という、業界初のリニューアルコンセプトで取り組んでいる当プロジェクトでは、「安全」・「環境」・「快適性」をキーワードとして、以下のような具体的な施策を実現します。

「安全」 …… 最新技術の導入による耐震性強化

構造体への制振ブレース取り付けや耐震処置により、阪神・淡路大震災を想定した震度6強以上の大地震に対しても建物の安全性を確保。

「環境」 …… 環境レベルの飛躍的向上

オリジナル新空調システム「AEMS(エイムス)」により、総エネルギー使用量を22.7%、CO₂排出量を28%削減しながら、お客さま一人ひとりの要望にきめ細かく対応した室内空調環境を実現します。
また、ザ・メイン2階及び16階屋上部分(総面積約2,800m²)の「屋上緑化」により、ヒートアイランド現象を緩和します。

「快適性」 …… 抜群の眺望とITインフラの拡充

リニューアル前に比べて約2倍の大きさとなった、壁全面ガラス張りの窓「フルハイトウインドウ」は、開放感溢れる空間演出をするとともに、Low-Eペアガラスという3層の複層構造により、断熱性にも優れ、紫外線を約50%カットします。
また、全客室にセキュリティレベルの高い高速インターネット回線とビデオ・オン・デマンドによる80タイトルの映画や、11チャンネルの外国語放送を行うテレビシステムを導入します。

ラグジュアリーカテゴリーが50%以上増室に

本年10月のグランドオープンに先駆け、4月11日(水)から、順次リニューアルの終了した客室の営業を開始し、計画の約70%である435室が5月3日(木)迄にオープンします。

今回のリニューアルによって、最終的に総客室数の36%が、ラグジュアリー(デラックス / スイート / エグゼクティブ)カテゴリーの客室となりますが、これらは、リニューアル前と比較して、50%以上と大幅な増室となり、今後東京でニーズが高まると想定される国内外VIP や外資系企業のビジネスエグゼクティブをはじめ、団塊世代のご夫婦、富裕層等、国内レジャー利用客への受入れ準備を万全なものにします。

抜群の眺望と快適な室内環境を実現

客室は、リニューアル前に比べて約2倍の大きさとなる壁全面ガラス張りの窓「フルハイトウインドウ」によって、開放感溢れる空間を演出。さらに、従来は暑すぎたり、寒すぎたりと好みの室温を得ることが難しかった空調環境を、最新空調システム「AEMS(エイムス)」の導入によって、各ゲストルームの温度を最適にコントロールし、心地良い室内空気環境を実現すると共に、窓際に備えた通風孔からフレッシュエアーを取り込む配慮もしています。この他、ベッドには、身体に負担をかけず上質な寝心地で安眠いただけるポケットコイルマットレスを採用するなど、抜群の眺望と共に快適な室内環境をもたらします。

デザインコンセプトは、和

リニューアルする客室のデザインコンセプトは、日本の伝統美をモチーフに、熟成させた味わいを表現。三ツ矢型建築構造のザ・メインの3ウイングを「雪・月・花」というテーマで区別し、ベッドカバーやピロー、クッションなどのファブリックや壁紙等の随所にそれぞれの文様をあしらう他、鏡や照明等の小物にも和のデザインを加えた上質空間に仕上げました。外装が全面ガラスで覆われたモダンなイメージと、隠し味的な日本のデザインモチーフとが相まって他には無い、斬新なホテル空間が誕生しました。

ザ・メイン 第2期客室営業概要(2007.4.~)

客室タイプ		室数	面積 (㎡)	室料	
				1名利用	2名利用
スタンダード	シングル	50	23	¥31,500	-
	ダブル	65	26	¥34,650	¥39,900
スーパーリア	ツイン・ダブル	109	36	¥39,900	¥45,150
デラックス	ツイン・ダブル	126	45~60	¥52,500~¥68,250	
スイート	ジュニアスイート	14	71~84	¥126,000~¥136,500	
	ガーデンスイート	3	102~115	¥189,000	
	プレジデンシャルスイート	1	150	¥315,000	
	ニューオータニスイート	2	546(255/134)	¥945,000(¥525,000/¥315,000)	
	和室	2	52/80	¥73,500/¥84,000	
計		372			
エグゼクティブ ルーム					
スーパーリア	ツイン	22	36	¥45,150	¥50,400
デラックス	ツイン・ダブル	33	45~50	¥57,750~¥63,000	
スイート	ジュニアスイート	6	67~76	¥168,000	
	ガーデンスイート	2	102~115	¥241,500	
計		63			
合計		435			

料金は消費税共。サービス料、宿泊税が別途加算されます。

エグゼクティブルームはコンチネンタルブレイクファースト、高速インターネット利用料を含みます。

グランドオープンに向けてのこの他の計画

2007年4月9日(月) 空中宴会場「LAPIS」オープン

空中宴会場として、エグゼクティブミーティングからサンセットウエディングまで、少人数向けの利用を承る宴会場「LAPIS」4会場(ザ・メイン16階、73~147㎡)をオープン。

同、4月13日(金)「Taikan En」リ・オープン

上海料理の老舗として多くの顧客から支持されてきたチャイニーズキュイジーヌ「Taikan En」(ザ・メイン 16階、客席数164席)が、王道主義をテーマに、リニューアルオープン。

同、6月「The Sky(仮称)」：世界初・最大級の回転レストランが誕生

1964年のホテル開業当時、世界最大の回転ラウンジとして、戦艦大和の砲台の技術が活用されるなど、多くのお客さまにご愛顧されたレストラン(ザ・メイン17階)を、オール電化厨房を備えたステージキッチンという新概念で、装いも新たにオープン予定です。

同、10月「エグゼクティブハウス“ZEN(禅)”(仮称)」：87室の最高級ホテル誕生

ザ・メイン11・12階には、最高級のクオリティ、仕様で創られた客室87室と専用のラウンジを設置したホテル・イン・ホテル、「エグゼクティブハウス“ZEN(禅)”(仮称)」が誕生。専任のスタッフによるコンシェルジュサービスを超えたバトラーなみのカスタマイズサービス等を提供予定です。

「ハイブリッドホテル プロジェクト」概要

計 画： 2005年11月着工、2007年10月竣工予定
総事業費： 約100億円
設計監理： 株式会社日建設計、エヌアールイーハピネス株式会社
内装デザイン： 株式会社スタジオ・エム、株式会社日建スペースデザイン
施 工： 大成建設株式会社
構 造： SRC+S造(地上17階、地下2階)
建築面積： 8,359.00㎡(延床:84,411.40㎡、施工床:48,145.00㎡)

「ザ・メイン」客室		改修後		改修前	増減
		面積(㎡)	室数	室数	
スタンダード	シングル	23	50	185	-135
	ダブル	26	141	96	45
スーペリア	ツイン・ダブル	36~42	215	261	-46
デラックス	ツイン・ダブル	45~60	127	126	1
スイート		71~481	23	29	-6
エグゼクティブハウス“ZEN(禅)”(仮称)		36~115	87	0	87
計			643	697	-54